

「川崎・神戸・福岡市民生活実態調査」調査概要

目的

本調査は、科学研究費基盤研究(A)「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」の一環として、市民の生活実態を把握できる社会調査の設計方法や調査手法の開発を目的として実施された。川崎市・神戸市・福岡市を調査対象地とし、都市における生活実態の把握が可能な調査方法について検証するものである。

調査主体

科学研究費基盤研究(A)「政策形成に貢献し調査困難状況に対応可能な社会調査方法の研究」

研究代表者：大谷信介(関西学院大学)

研究分担者：稲葉昭英(慶應義塾大学)、後藤範章(日本大学)、
木下栄二(桃山学院大学)、小松 洋(松山大学)

調査概要

調査対象地 神奈川県川崎市、兵庫県神戸市、福岡県福岡市

調査対象者 18～80歳の住民

サンプル数 各市2,000 計6,000

サンプリング方法 選挙人名簿による無作為抽出法

調査方法 郵送法による質問紙調査

調査期間 2019年7月～9月

回収数	(全体) 回収数 2,951 回収率 49.18%	有効票 2,877 無効票 74	有効回収率47.95%
	(川崎) 回収数 971 回収率 48.55%	有効票 944 無効票 27	有効回収率47.20%
	(神戸) 回収数 1,046 回収率 52.30%	有効票 1,022 無効票 24	有効回収率51.10%
	(福岡) 回収数 934 回収率 46.70%	有効票 911 無効票 23	有効回収率45.55%

調査日程

2019年6～7月 サンプルリング

7/16(火) 依頼はがきの発送

7/22(月) 正規調査票の発送

8/9(金) 催促はがきの発送

8/7(水) (正規調査票に記載された投函締切日)

8/20(火) (催促はがきに記載された投函締切日)

8/26(月) 催促調査票の発送

調査項目

〈あなた・配偶者について〉性別／婚姻状況／年齢／出身地／職業／職場の場所／通勤時間／通勤手段／1週間の労働日数・労働時間／出勤・帰宅時刻／最終学歴

〈ご家族について〉きょうだい／親・子(居住地・交際頻度)／日常的な育児・介護の有無

〈交流のある方々について〉近隣づきあい／親しい人／最も親しい人・頼りにしている人

〈お住まいについて〉居住年数・現住居の種類・同居人数・同居人の属性／前住地と住居の種類

〈日ごろの生活について〉生活満足度／時間のゆとり／町内会加入／集団参加／余暇生活／家事分担／施設利用(市民館・公民館、図書館、スポーツ施設)／市の広報紙を読んだことがあるか／生活時間(睡眠時間・労働時間・家事時間・育児時間・介護時間・自由時間など)／テレビ視聴時間／インターネット利用時間／生活空間(食料品・衣料品・家電・病院・散髪)

〈あなたの世帯について〉 自家用車の有無／自動車運転頻度／世帯家計の収入構成／昨年 1 年間の世帯収入／世帯の貯蓄額 〈2019 年国政選挙における投票行動〉

本調査の主要なポイント

- ・政府統計をおぎなう新しい方法を開発する（簡潔・基礎的・生活実態の測定・クロス集計）
- ・各自治体の市民の生活実態の把握から政策課題を明らかにする
- ・どの自治体でも実施できる＝汎用性・普遍的な調査票を構築する
- ・自治体間の比較をすることによってもその市の課題が明らかにできる
- ・市民の投票行動に関する学術研究への貢献(市民の生活実態と投票行動の関連)

政府統計は、多種多様なテーマに対して詳細な調査が実施されており、証拠としての意義はあったが、問題解明にはクロス集計ができないという欠陥があった。例えば、「単身者」が「どんな住宅に住み」「どこに通勤し」「どんな働き方をし」「どのような家計で」「どのような生活時間を過ごし」「地域施設を利用し」「家族と関係を持ち」「生活に満足しているのか」といった生活実態を測定しようとする、従来の政府統計(「国勢調査」「住宅土地統計」「家計調査」「社会生活基本調査」「国民生活世論調査」等)の調査項目を、それぞれクロス集計しなければ分析ができない。データ(証拠)に基づく政策形成には、生活実態を測定でき、かつ、クロス分析することによって「課題を発見」することができる標本調査が重要であると考え、「生活実態調査」で実施していこうとするものである。

回収状況

		有権者数	サンプル数	有効回収数	有効回収率
川崎市	川崎区	188,235	304	136	44.7%
	幸区	137,749	222	118	53.2%
	中原区	210,533	340	154	45.3%
	高津区	188,644	305	134	43.9%
	多摩区	177,382	286	138	48.3%
	宮前区	189,444	306	138	45.1%
	麻生区	146,450	237	124	52.3%
	区不明	—	—	2	—
	計	1,238,437	2,000	944	47.2%
神戸市	東灘区	174,470	276	154	55.8%
	灘区	108,191	171	96	56.1%
	兵庫区	90,291	143	74	51.7%
	長田区	80,131	127	50	39.4%
	須磨区	135,669	214	107	50.0%
	垂水区	183,929	291	171	58.8%
	北区	182,028	288	144	50.0%
	中央区	108,571	171	72	42.1%
	西区	201,729	319	154	48.3%
	計	1,265,009	2,000	1,022	51.1%
福岡市	東区	248,100	393	170	43.3%
	博多区	192,539	305	125	41.0%
	中央区	159,744	253	107	42.3%
	南区	213,571	339	157	46.3%
	西区	167,989	266	138	51.9%
	城南区	103,562	164	71	43.3%
	早良区	176,473	280	143	51.1%
	計	1,261,978	2,000	911	45.6%

(有権者数は 2019 年 6 月 3 日現在)

(日別回収状況)

